

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名	農業者年金事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	働く人が輝き続けるまちづくり	所属部		課長名 福島正幹
	施策	11	農業の振興	所属課	農業委員会	担当者名 坂本強
	基本事業	31	経営力の強化・生產品の価格安定	所属班	農地班	(内線) 1182
				法令根拠	農業者年金基金法	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
	1	6	1	2	10292			コスト削減優先度評価結果	9
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~	年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
受給資格得喪失等の関係事務の適正な処理や農業者年金の加入を促進する。

【業務の内容】
加入者年金関係書類の審査・進達、加入者の受給手続き、受給者資格審査・資格変更の進達
未加入者加入促進

【予算の内訳】
時間外手当 旅費 雲田費 役員費 負担金補助金及び交付金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 農業者年金受給者、加入者、農業者年金受給待機者の諸手続き、加入促進	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 農業者年金対象者 人 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 国民年金1号被保険者で、年間60日以上農業に従事するもの。農業者年金受給者、農業者年金加入者、農業者年金受給待機者。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 未加入者 人 → イ 加入者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業者の老後の安定	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 加入率 % → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 安定した収入を確保できる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 生産農業所得(認定農家一戸当たり) 円 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費	投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								総 ト ー タ ル コ ス ト
		千円								
		千円								
		千円								
		千円	664	524	591	521	584			
		千円	664	524	591	521	584	0	0	
人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 (B)人件費計	人	1	1	1	4	4			22 年度
		時間	250	250	250	344	344			
		千円	993	995	995	1,369	1,369	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,657	1,519	1,586	1,890	1,953	0	0	

活動指標	人	858	840	838	838	835		3
対象指標	人	339	336	333	333	330		3
成果指標	%	18	19	20	19	20		
上位成果指標	円	5000000	5200000	5500000		6000000		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上に資するとともに、農業者の若返り及び農業経営の細分化防止と経営規模拡大を図るため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
年金財政の破綻の危機により、平成14年1月1日法の改正。年金給付等に必要費用をその時々現役世代(加入者)の保険料で賄う方式(賦課方式)から将来の年金給付に必要な原資をあらかじめ自ら積み立てていく方式(積立方式)に改められた。また、加入要件についても農業経営者のみならず、農業に従事する者にも加入資格が認められた。しかし、この改正時に年金加入の脱退者が多く、新制度への加入者が減少した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
農家より、旧制度に対しての不信感が強いため新制度への加入を見合わせているという意見があった。

事務事業名	農業者年金事務事業	所属部		所属課	農業委員会
-------	-----------	-----	--	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 農業者の老後の安定及び後継者の農業経営を円滑に引き継ぐことは、農業者の老後の安定生活及び担い手農業者の育成につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 農業者の老後の安定のために必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年金加入対象者の中で未加入者がいる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 現在、農業者年金に加入している者及び被保険者、待機者等への手続きができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事務手続きであり、類似事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は、農業者年金基金の事務委託手数料であり削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 課員で最小の事務を行っており、削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事業であり公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成19年2月に農業委員改選が行われ、農業者年金の研修を行い加入推進を図っていく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下	○		
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下	○																

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
旧制度への不信感が強く、新制度への加入促進が困難である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)